



## 2022年 第6号 ご挨拶

2 カ月以上続いた上海がロックダウンは 6 月 1 日に解除され、人々が動き出し、街に活気が戻りました。ただ、一部在宅勤務が継続されたり、上海から他の都市への移動後は隔離が要求されたり、デリバリーはできるものの店内飲食は制限されたりとまだまだ段階的に回復している状況です。事務所ビルや商業ビルに入る際には 72 時間以内の核酸検査陰性証明が要求されるため、定期的な PCR 検査が街中で行われています。このような新しい日常のもと、これからの中国事業のあり方を検討されている企業も多いと思います。中国は特殊な国であることが再認識された今、サプライチェーンの見直しや、事業の選択と集中が進み、より筋肉質な体制に変革するための組織再編や、人材不足や人件費上昇に備えた DX 等、具体的な取り組みが実行されていくでしょう。中国の特異性や世界の約 2 割の人口を占めていることを考えると、グローバル・モデルを中国に当てはめるといより、中国で通用する事業モデルを進化させることができた企業が、大きな収穫を得ることができると考えます。

KPMG 中国 GJP 中国総代表 高部 一郎

### 1. 中国スピードが導く自律走行の新しい未来

中国における自動運転システムの高度化が進み、レベル 1（運転支援）とレベル 2（部分自動運転）ますます大規模に展開されています。KPMG 中国の Leading Autotech 50 プログラムの一環である本レポートは、自動運転における中国の主要なイノベーション企業を紹介し、業界の主要課題、機会、開発傾向を分析しています。自動運転は、人工知能、ユーザー中心の設計、洗練された製造が複雑に融合した、自動車インテリジェンスの至宝と考えられています。完全な自律走行により、自動車は純粋な機械製品から、中国でよく言われる「mobile third space」へと変貌を遂げるでしょう。この進行中の変革は、すでに自動車産業のバリューチェーンを変化させ、広範な交通エコシステムを生み出すこととなります。真の自律走行が実現すれば、モビリティやロジスティクスなど、私たちの個人生活や職業生活の概念を一変させることになるでしょう。中国では自律走行機能に対する初期の顧客受容度が他の多くの国よりも高いですが、他のプレミアム機能と比較して高価であり、車両価格にも反映されています。部品コストが下がり、より多くの AD システムが自動車に組み込まれるようになれば、顧客受容のペースは加速するでしょう。

> [全文はこちら](#)（中国語）

> [全文はこちら](#)（英語）

## 2. バイオテクノロジー・イノベーション 50 社賞

生物医学技術産業は、最も有望なハイテクの中心産業へと急速に発展しており、人類の発展が直面する環境と健康の主要問題の解決に大きな可能性を示し、大型健康産業クラスターも前例のない発展チャンスを迎えています。KPMG 中国が主催し、中国招商証券有限公司が共催した KPMG 中国初のバイオテクノロジー・イノベーション 50 社賞は、2021 年 8 月に発足し、研究、産業、投資、企業などの専門家代表から強い支持と注目を集めました。5 つの中核的な選定項目に基づき、10 人以上の権威ある専門家が審査員として招かれ、バイオ医薬品、細胞治療、遺伝子治療、体外診断、医療機器、創薬の 6 つの主要分野で企業を評価し、潜在的なバイオテクノロジー革新企業を選び、より多くのリソースと結び付け、エコシステムの複数のプレーヤーと協力して、中国のバイオテクノロジー革新産業の高品質で健全な発展を推進します。

> [全文はこちら](#) (中国語)

## 3. ビジネスと人権 ～経営の「周辺課題」から「重要課題」へ～

機関投資家はグローバル・サプライチェーンを安定的かつ継続的に維持する上で「人権」を重要なリスク・ファクターと捉えています。企業は、機関投資家の「人権」に対する評価目線を意識しつつ、事業活動に内在する潜在的な人権リスク（事業活動が人や社会に対して与える負の影響）や顕在化した人権リスク（既に発生してしまっている人権侵害）を適切に把握し、是正や救済措置を講じる等、リスク低減に向けた対応を深化させることで企業価値の毀損を防止する必要があります。この是正・救済措置を講じる一連のプロセスは、「人権デュー・デリジェンス」と呼ばれますが、その実効的な取組みこそ、今の日本企業が直面している喫緊の課題です。そのためには、ガバナンス体制の強化に加えて、グローバルに広がるバリューチェーン全体に内在する潜在的な人権リスクや顕在化した人権リスクを適切に把握する「人権への影響評価（人権アセスメント）」にも取り組まなくてはなりません。企業のバリューチェーンを構成するサプライチェーンの構造を丁寧に紐解き、人権アセスメントを実施することは地道で非常に骨の折れる取組みです。そのうえ、“この通りに進めれば万事解決”というような全企業共通の指南書があるわけでもないため、他社の取組みを参考に取入れつつも自社の実態に沿った独自の方法論を検討する必要があります。

> [全文はこちら](#) (日本語)

## 4. セキュリティ・プライバシーを考慮したメタバースへの取組み

メタバースの没入型環境は、すでに驚くべき新しい方法で人々を惹きつけています。デジタルアバターとアイデンティティは、ソーシャル、ショッピング、ゲーム、フィットネス、教育、仕事、トレーニング、エンターテインメントなどの活動に広がってきています。この仮想現実（VR）と拡張現実（AR）の世界では、膨大な量の生体データとすべてのユーザーの詳細な行動プロフィールを取得する可能性があります。また、特に高度化する人工知能や機械学習システムとのインタラクションを通じて、その可能性が広がっています。デジタルアバターやデバイスの普及は、すでに新しいレベルのプライバシーリスクを引き起こしており、これらのゲームチェンジをもたらす能力は、規制当局や企業が真剣に注意を払うべき課題を提示していると言えるでしょう。

> [全文はこちら](#) (日本語)

## 5. デジタルの信頼不足の解消

「デジタル・トラスト」は、「デジタル技術とそれを提供する組織が公共の利益を保護する能力があるか否かにかかる社会からの信頼」と定義できます。デジタル技術への信頼は、社会とガバナンスの課題として一段と重要な位置を占めるようになるでしょう。また、デジタル技術への信頼を得るためには、適切なセキュリティとガバナンスのフレームワーク、および、責任ある

倫理的な技術やデータの利用が必要となります。企業が責任を持ってデータを収集し、データに基づく意思決定を行っていることを確実かつ一貫して説明することができれば、新たなレベルの透明性を提供することとなり、信頼性を高める上で大きな意味を持つでしょう。生命を維持する医療機器から、一層スマートになっている重要インフラまで、生活のあらゆる場面で活用されているデジタル技術への信頼も高めることとなります。

> [全文はこちら](#) (日本語)

### <ご参考> COVID-19 対応に関する情報提供

こちらのサイトに関連情報を掲載しております。

- 携手战“疫” (中国語) [資料はこちら](#)
- Business Continuity Insights (英語) [資料はこちら](#)
- 新型コロナウイルスがビジネスに与える影響 (KPMG ジャパン) [資料はこちら](#)

Wechat でも日々情報発信をしておりますので、是非ご登録頂けると幸いです。



### Contact us お問い合わせ先

GJP China Markets: [gjpmarkets.china@kpmg.com](mailto:gjpmarkets.china@kpmg.com)

Tel: [+86 \(21\) 2212 2247](tel:+86(21)22122247) (日本語)